

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	からふるリーフみさと		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 21日		令和8年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と利用児童からの満足度が高く、行きたい事業所 と思ってもらえている	・お出かけなどの活動を取り入れ、公共でのマナーを学 んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。 ・事業所内で買い物をしたり、実店舗に行き買い物、飲 食をすることで、社会性の向上、社会参加を目指して いる。 ・上記のことを含め、利用児童・保護者のニーズに合わ	職員全員が意見やアイデアを出しやすくなるよう、 話し合いの機会をより増やしていく。
2	様々な研修の実施(職員育成の強化)	研修委員を中心に、虐待防止、感染症予防、その他職 歴などに合わせて様々な研修を行っている。 ・事例検討会では、全職員が進行役となり、進行者 としてのスキルも上げられるように工夫している。 ・研修動画を用意して個々のペースで行えるようにして 、参加できない職員がいないようにしている。	・定期的に職員の希望を確認しながら、保護者や児童 、職員のニーズにあった研修や、支援の質が向上する 研修を実施していく
3	職場の雰囲気 風通しが良い職場の雰囲気作り	・毎月の会議や日々の会話の中で、職員の悩みや困り事 の確認を行い、働きやすさを追及している。 ・お互いの強みを活かせるよう役割分担を行いながら、 支援や日々の業務にあたっている。	コミュニケーションを大切に、職員の強みを活かした 支援ができるよう連携を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への非常時等への対応(緊急時・感染症等) に対する周知・発信不足。 訓練等実施していることでの発信不足。 施設の老朽化があるのでメンテナンスしていきたい。	防災への取り組みや緊急時の対応は作成してHP等にも 載せてはいるが周知機会が不足。	・施設のメンテナンスだけでなく細かなところの清掃に気 をつける
2	利用児童と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の 企画・提供不足。	療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いて おり、「地域支援・地域連携」に対する情報収集不足・ 取り組み不足。 ・年間計画として立案していない意識不足。	・安全面を考慮しながら、近くの公園等から少しずつ 交流の機会を増やしていく。また、地域の活動等の情 報収集を行う。 ・児童発達支援では行ってきているので、放課後等デ イサービスでも保護者会や保護者参加のイベントを企 画する。
3	情報発信力が弱く、提供できる情報が限られている。	・活動内容を伝えたいが、個人情報保護の観点から、公 として発信できる手段や情報が制限されます。	ホームページの内容を見直し、情報を利用者にとつ て、詳しく分かりやすい内容にしていく。 ・個人情報保護に配慮しつつ、子どもの活動の見える 化を目指し、保護者へ情報発信の仕方を検討していく 。